

# 平成28年度 施策評価表

作成年月日：平成29年10月12日

	課・グループ名	保健福祉課高齢者包括グループ	
<b>施策名</b>	①-c 高齢者等の生活支援の充実（介護予防の充実）		4-3-①-C
<b>1. 施策の現状分析及び展開方向</b>			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(3) 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり	①-c 高齢者等の生活支援の充実（介護予防の充実）
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南幌町介護保険事業計画に基づき、高齢者が介護状態に陥ることなく、健康な生活を送れるよう支援します。</li> <li>●訪問活動や関係機関、地域住民などの協力を得ながら、支援が必要な高齢者の把握に努めます。</li> <li>●介護予防の必要性を広く周知し、地域で高齢者自身が自主的に介護予防に取り組むことのできる環境づくりを目指します。</li> </ul>		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護を必要としない元気な高齢者に対して、現在の状態を維持した生活を送ることができるよう、快足シャキットと倶楽部や老人クラブでの運動教室、また、食の自立を目的にした男の料理教室を実施しています。</li> <li>●介護が必要となる恐れのある方に対して、状態の軽減・悪化防止のため、運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上などの事業を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適切な支援が必要な高齢者の把握が必要になっています。</li> <li>●高齢者が健康で生きがいのある生活を送るためには、高齢者自らが取り組むことのできる介護予防の提供と意識を高める必要があります。</li> </ul>	

<b>2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況</b>							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化
	介護予防事業のうち一次予防事業の運動機能向上教室、男の自立支援教室の参加延べ人数を代替指標とする。			成果指標（総合計画・施策評価）			可能
							○
				代替指標 ※成果指標がない場合			未計測
							指標の設定
			運動機能向上教室・男の自立支援教室の参加延人数			○ 可能 不可能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
目 標	人	1,950	2,400	2,400	2,400	2,400	介護予防の啓発と水中運動教室の開催数を増したことから参加者が増加した。
実 績	人	2,420	2,381	2,330	2,488	2,488	
達成率	%	124.1	99.2	97.1	103.7	103.7	
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移（目標達成は十分に可能である）				<b>施策の達成度</b>	高齢者が自ら健康や介護予防に関心を持ち、参加意識が高まっているとともに、参加しやすい介護予防事業の提供ができた。引き続き参加者ニーズを把握し、気軽に参加できる事業を取り組むとともに、身近な地域で自主的に取り組みができる体制づくりを進める。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移（目標達成は可能である）					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている（目標達成が遅れる可能性がある）				<b>A</b>	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている（目標達成は難しい）					

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

<b>【種類】</b> 事務事業の種類	<b>【必要性】</b> 事務事業の必要性	<b>【妥当性】</b> 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業 番号	事務事業名	種 類	所 管 課 名	成 果 指 標	評価年度(H28)		事 務 事 業 の 内 容	必 要 性	妥 当 性	事 務 事 業 評 価 結 果 (方 向 性)		事業費(千円)	
					目 標	単 位						H28実績	H29予算
					実 績								
1	地域支援事業(重複)	(1)	保健福祉課	4-3-①-b と重複									高い

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H28事業費	12,629
H29予 算	27,345

②H29に実施した新規事務事業					
	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性  B	高齢者は年々増加するため、引き続き本事業を通じて、介護予防の意識啓発に取り組むとともに介護保険事業計画に基づき、高齢者が健康で可能な限り自立した生活をしていくために、地域で高齢者を取り巻く環境づくりを含めた介護予防事業の体制整備を進める。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)		
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性  優先度 A~D (ランク)	事業番号				平成29年度以降 の予算の方向性		
			A	1					
			B						拡大
			C						○ 維持
			D						縮小